



松山市生活支援体制整備事業における生活支援コーディネーターが松山市内の地域を訪ねて取材した、つながり・支え合う地域の多様な取り組みを『地域のお宝』としてご紹介します。

取材先

雄郡地区 認知症キッズサポーター養成講座・認知症  
高齢者への声かけ模擬体験（たちばな小学校4年生）



令和4年11月25日開催



雄郡地区社会福祉協議会 尾崎 まり子 会長

高齢化とともに認知症のある方は増えていきます。生活の困りごとが周囲の付き合い方の工夫で軽減できることを学び、認知症とともに生きる幸せな未来を地域で実現していきたいと考えています。



認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、雄郡地区社会福祉協議会によるたちばな小学校4年生の児童を対象とした「認知症キッズサポーター養成講座・認知症高齢者声かけ模擬体験」が開催されました。地域包括支援センター雄郡・新玉や民生児童委員さんの協力を得て、認知症を正しく理解するための講義を受けた後、認知症の人が困っているときに本人の気持ちに配慮した優しい声かけができるように、声かけのポイントを学んだ児童たちと認知症高齢者役の先生による声かけ体験を行いました。日ごろからなじみのある「まもる君の家」のステッカーを探して助けを求める等、子どもにも無理なくできる見守りや声かけ方法について理解を深めることができました。

生活支援コーディネーターのここがポイント！

子どもたちにも認知症を正しく理解してもらうことは、世代を超えた地域ぐるみの見守り・支え合い体制になるだけではなく、これからの地域を担っていく若い世代が福祉観を養い、困っている人がいたら気にかけて、支え合える優しい地域づくりに向けた種まきにもなっていると感じます。



地域の取り組みを教えてください！

「へこまんくんといく！」では、松山市内の実践を募集しています。「私たちはこんな工夫をして、気にかけている」など、あなたの地域の支え合いの取り組みを教えてください。情報をお持ちの方は右記のお問い合わせ先まで！

お問い合わせ先

松山市社会福祉協議会 地域福祉部地域支援課  
〒790-0808 愛媛県松山市若草町8番地2  
TEL：089-941-3828 FAX：089-941-4408